学校番号	123

平成 31 年度　　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	新編　書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編　書道Ⅱ　（教育出版）						
副教材等	美しく正しい字が書ける横書きペン字練習帳（新星出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅰで習得したものを基礎として引き続き一人ひとりの個性を生かし、さらに伸ばしていくことが学習の目標です。練習する古典や題材をする語句などを選ぶ際、自分のめざす表現を明確にして、それをいかせる選択をしていきましょう。書道Ⅱの学習を通して生涯にわたり書を身近な存在として感じ、自己表現としての書をめざしていくことを希望します。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の文化や伝統についての理解を深め、意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとしている。	書の学習を通して個性豊かな能力を伸ばし、創造的な表現を工夫している。	個性豊かな表現をするために幅広い表現理論と技能を身につけている。	書の歴史や文化について理解し鑑賞の活動の中で書の美を分析的・統合的に捉え、そのよさや美しさを味わっている。
評価方法	観察 授業プリント感想 作品ファイル	観察 授業プリント感想 作品ファイル 提出作品	観察 授業プリント感想 作品ファイル 提出作品	観察 授業プリント感想 作品ファイル 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	隷書	・隷書の基本的な用筆を理解する ・曹全碑の臨書 ・折帖作品制作	○	○	○	○	a:隷書の特徴を理解し興味・関心を深めている。 b:多様な隷書や美しさを理解し創造性豊かに隷書表現の工夫をしている。 c:隷書の様々な表現技法を身に付けている。 d:隷書の造形美を理解し、よさを感じ取っている。	観察 授業ファイル 提出作品
2学期	草書	・草書の特徴を理解する ・書譜・十七帖の特徴を理解する ・書譜か十七帖のどちらかを選び半切 1/2 作品制作	○	○	○	○	a:草書表現を理解して、色々な表現技法を習得できるように主体性をもって意欲的に取組んでいる。 b:多様な草書の特徴を理解し草書の美を感受し表現を工夫している。 c:草書の様々な表現技法を身につけ、自己の表現活動に発展させている。 d:草書の造形美を創造的に味わっている。	観察 授業ファイル 提出作品
	篆刻と刻字	・篆書の用筆・運筆を名前の四文字印の作成 ・篆書一文字創作作品をタイルに刻りつける	○	○	○	○	a:篆書の特徴を生かし、立体書としての美の表現に興味・関心を深めている。 b:篆刻・刻字の表現分野を理解し、創造性豊かな表現の工夫をしている。 c:篆刻・刻字の表現の刀法を身に付け、表現活動に発展させている。 d:篆刻・刻字の造形美や刻刀による立体美を感じ取っている。	観察 授業ファイル 提出作品

3 学 期	漢字仮名交じりの書	・題材((詩文)の選定 ・作品形式を考える ・墨色を工夫する ・造形・線質を工夫する ・表具(パネル)を工夫する ・相互に評価する	○	○	○	○	a:詩文の選定、作品の構想、創造活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取組もうとしている。 b:作品意図を明確に持ち、字形、線質、余白のとり方などを工夫している。 c:表現を幅広く理解して、その為の技能を身に付けている d:お互いの作品を鑑賞し、そのよさやうつくしさを創造的に味わっている。	観察 授業ファイル 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。